



NO.970

2014/5/18

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
四三二一四四五七



先日、市民から消費税増税に対する怒りの投稿がありましたので、掲載します。

消費税増税は許せない！

私は、長い間、農業一筋で生きてきました。

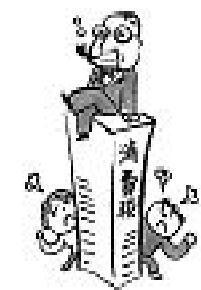
戦前戦後の厳しい時代を味わい、戦時中は国の命令に従わぬものは国賊というレッテルがはられ、言論の自由など一切許されない時代でした。(ホシガリマセン勝つまでわ)の合言葉、窮乏にたへえる生活こそが美德とされた時代でした。

敗戦により新しい憲法が制定され、国民主権の政治と変わり、全ての国民は等しく最低限の文化的生活の保障が認められています。

私は、10年ほど前に地方から離農して網走で生活していますが、私た

ちの生活費は国民年金と老齢農業者年金が頼りの生活です。

そうした中で、多額の所得がある人も生活(即ち)生きていく上では、衣・食・住は、同じであり、少ない年金暮らしをしている者にとつては、消費税の増税は、大きな負担となり、年金は減額され、めじろ押しに値上げされる公的負担(介護保険料、後期高齢者医療等)物価の値上がりで生活を苦しめる消費税増税は、絶対許してはなりません。(86歳男性)



市民の会総会開催 消費税のさらなる増税を許さない 網走市民の会へ発展改称!

消費税の4月からの増税の中止を求める網走市民の会は、先月、幹事会を開き、8%に消費税が実施されたことから「市民の会」を発展的に改称して、新たに、「消費税のさらなる増税を許さない網走市民の会」へ改称することを決め、5月18日(日)午後2時からエコーセンターで、「消費税のさらなる増税を許さない網走市民の会」の総会を開くことになりました。

総会では、「市民の会」の役員体制、活動の確認、会則、当面の活動等が決められます。この会には、日本共産党も幹事団体に参加していますので、しんぶん赤旗の読者のみなさんにも「市民の会」に加入していただき、総会にも参加していただくようお願いしています。



いっせいで東奔西走

先日、管内的規模の小学・中学・高校・一般1100名の陸上大会が網走であり、久しぶりに審判を手伝いました。

観客も多く、子どもや孫の活躍を一目見ようと、おじいちゃん、おばうちゃんとおぼしき人が大勢詰めかけた大会でしたが、とても気になる事がありました。競技する子どもたちにとって、試合中の肉親の声援は心強いものです。「頑張つて」「落ち着いて」など、精神的な励ましする分はいいのですが、ゴール近くで親とおぼしき男性が、子どもは一生懸命走るが遅れ気味の時「オラ、オラ何やってんだ!つかなきや駄目だコラ!」「死に物狂いでつかなきや駄目なんだコラ!」と罵倒する言葉の連続です。

親だから、叱ること、罵倒することで、子どもの奮起を促し、子どもも納得ずみという人もいますが、本当にその手法が効果的なのかはなはだ疑問です。昔、少年団指導をしていたとき、疲れているある選手が練習終了後、私の指導よりきつい練習を課しました。自分の思い通りにならないと指導者が何のために居るのか思考停止に陥った親には啞然とし、私は子どもの親に少年団を辞めてもらった事を思い出しました。憂うべき過去のひとこまです。

松浦奮戦も

北見民主商工会の総会が、11日(日)に北見市でありました。私も網走の会員の1人として参加

しましたが、議論の中心は消費税増税で、売り上げが前月より2〜3割も落ちたという方や消費税が転嫁できないので、3月いっぱい廃業した人もいるようです。また、来年3月の確定申告の心が心配だ、消費税が8%になったことよって、どれだけ消費税を納めなければならぬか、果たして納めることができるだろうか。など、問題が出るだろうという発言もありました。

それにしても中小企業からは、容赦なく税金を取るのに、なぜ、力のある大企業には減税をしたり、消費税を戻したりするのか、やっていることが逆さまではないでしょうか。税金は、「生活費は非課税」で「応能負担が原則」です。ですから消費税は、原則から逸脱していると思います。

流水

「日常茶飯事」という言葉で表される様に、日本人にとって緑茶は伝統的な、最も身近な飲み物です。茶葉にはカテキン等、多くの有効成分が含まれ、健康、長寿を保ち、又、そのアミノ酸は心のゆとりを育んできました。しかし近年、食生活の変化と共にご飯離れが進み、食卓でもゆっく

り急須で入れたお茶を飲む習慣が失われつつあります。茶葉の消費量も減り、緑茶の本当の味を知らない世代が増えってきました。▼代わって急増してきたのがペットボトル入りの茶飲料で、緑茶の抽出液をボトルに封入した「加工食品」です。農水省の調査によるとペットボトル茶の消費量はここ二十年間で約七倍に増加とのことです。▼ボトル茶には、その保存性を増すための添加物が入っています。クロロフィル褐変防止のためにムアスコルビン酸(ビタミンC)やPH調整剤(要素不要)が加えられるが、アスコルビン酸のほぼ九割は中国からの輸入品、製法も遺伝子組み換えのものほとんどと言われています。PH調整剤の添加はナトリウムの含有量を増します。いずれにしてもボトル茶の飲用は添加物の摂取を増します。▼これに反して、産地の確かな国産の茶葉を急須に入れて飲む緑茶は、何の心配もなく「茶の利点」をしつかりと楽しめるもので、この伝統的な習慣を末永く大切にしていきたいものです。(K)